

Japan Society of Sport Sociology

日本スポーツ社会学会 第22回大会

大会プログラム

会 期

2013年3月18日(月)・19日(火)

会 場

学校法人 福山大学 宮地茂記念館

大会スケジュール

3月17日(日)

15:00-18:00 新旧理事会(記念館 8F 804)

3月18日(月)

11:00-12:30 学生会員フォーラム(記念館 8F 802)

テーマ 「障害者スポーツ」の社会学に向けて
—スポーツ/日常における「障害」をめぐって—

登壇者 渡 正(徳山大学)
河西正博(近畿医療福祉大学)

コメンテーター 山崎貴史(筑波大学大学院)

司 会 鈴木楓太(一橋大学大学院)、黒須朱莉(一橋大学大学院)

12:00 受 付 (1F ロビー)

13:00-15:00 一般発表(1) A・B・C会場(7F; 704・705・706)

15:00-17:30 国際交流委員会シンポジウム(記念館 9F 903)

テーマ:『スポーツ分野におけるマスキュリティ研究の現在』

シンポジスト:

伊藤公雄(京都大学) “近代=男性主導スポーツのゆくえ”

岡井崇之(東洋英和女学院大学)

“格闘技文化におけるマスキュリティとその問題

—道場での参与観察と格闘技選手のライフヒストリーから—”

Brent McDonald (Victoria University, Australia)

“Ethnographic approaches to understanding Japanese masculinities
in sport: Reflecting the shift in the gender studies of sport”

指定討論者 兼 通訳: 倉島 哲(関西学院大学)

コーディネーター: 高峰 修(明治大学)

17:30 - 18:30 総会(9F 903)

18:30- 移動

19:00- 懇親会

3月19日(火)

9:00-11:00 一般発表(2) A・B・C会場(7F; 704・705・706)

11:00-12:00 韓国招聘講演会(記念館 9F 903)

**Foreign professional athletes and racial/ethnic issues in Korean society:
Racial integration? or racial conflict?**

Seongsik Cho (Professor of Sport Industry & Management, Hanyang University &
Senior vice-president of Korean Society for the Sociology of Sport, Korea)

12 : 00-13 : 00 昼食

13 : 00-16 : 00 研究委員会シンポジウム (8F : 802, 803)

『スポーツと教育:その現在と21世紀ビジョン』(8F 802)

シンポジスト

- スポーツと教育の新しい関係の可能性について —純粹贈与による歓待から—
亀山佳明(龍谷大学)
- 教育としてのスポーツと「死」 —「死」と向きあう社会との関係から—
小路田泰直(奈良女子大学)
- 体育科教育の過去・現在・未来 —「楽しい」体育の可能性とは—
鈴木秀人(東京学芸大学)

コメンテーター …杉本厚夫(関西大学)
松田恵示(東京学芸大学)

コーディネーター …菊 幸一(筑波大学)

『政治とスポーツ:ロンドン・オリンピックをめぐるポリティクスを考える』(8F 803)

シンポジスト

- デイヴィッド・キャメロン連立政権下のロンドン・オリンピック政策の背景とねらい
青沼裕之(武蔵野美術大学)
- 2012年ロンドン・オリンピックとイギリスのスポーツ政策
—地域スポーツ振興の「国家戦略」化に着目して—
金子史弥(一橋大学大学院)
- メガ・スポーツイベントと都市開発 —ロンドン・オリンピックを導きの糸として—
松林秀樹(関東学園大学)

コメンテーター …坂上康博(一橋大学)
山下高行(立命館大学)

コーディネーター …石坂友司(関東学園大学)

16 : 00-17 : 00 一般発表 (3) A・B・C会場 (7F : 704・705・706)

一般発表 タイムスケジュール

3月18日(月) 13:00~15:00 一般発表(1)

	A会場 (7F 704)	B会場 (7F 705)	C会場 (7F 706)
13:00~ 13:30	<p>座長:小谷寛二(福山平成大学)</p> <p>1. 植田 俊(筑波大学大学院) スポーツを通じた移民生活の安定化と社会関係の再編—日系ペルー人の「タノモシ」サッカーを事例として—</p>	<p>座長:中江桂子(成蹊大学)</p> <p>1. 大橋充典(九州大学大学院) スポーツにおけるメディア・リテラシー教育実践の検討——ジェンダーに着目して</p>	<p>座長:清水 諭(筑波大学)</p> <p>1. 白石 翔(岡山大学大学院) 野球選手のプレー中における発声行為に関する研究—「がや」のゲームに対する意識分析から—</p>
13:30~ 14:00	<p>2. 千葉直樹(北翔大学短期大学部) 国境を越えたプロバスケットボール・リーグのグローバル戦略と経営:ユーロリーグ、NBL、bjリーグの事例研究</p>	<p>2. ケイト シルベスター(ビクトリア大学) “所属する”ことの駆け引き:日本の体育系大学女子剣道部におけるジェンダーの研究</p>	<p>2. 竹内秀一(岡山大学大学院) スポーツにおける身体思考に関する一考察 —ダンスの「即興」を手掛かりに—</p>
14:00~ 14:30	<p>3. 関 幸生((公)日本陸上連盟) ロンドン五輪マラソンで金メダルを獲得したウガンダ選手と世界を席卷するケニアマラソン選手の社会的背景の共通点</p>	<p>3. 高橋豪仁(奈良教育大学) 女子プロ野球に関する一考察</p>	<p>3. 花塚可那(東京学芸大学大学院) ダンサーにとっての「衣装」とは何か?—「衣装」の持つ文化的内在性に焦点づけて</p>
14:30~ 15:00	<p>4. キム ヒョンミン(筑波大学大学院) 韓国におけるスポーツナショナリズムの変容に関する研究-1990年代の朝鮮日報における記事に着目して-</p>	<p>4. 東明有美(順天堂大学大学院) 日本におけるサッカーへの女性参入過程に関する研究</p>	<p>4. 平井啓太(東京学芸大学大学院) 体育学習における「運動量」の意味に関する再検討—ベースボール型ゲームに視点をあてて—</p>

3月19日(火) 9:00~11:00 一般発表(2)

	A会場 (7F 704)	B会場 (7F 705)	C会場 (7F 706)
	座長:渡 正(徳山大学)	座長:水上博司(日本大学)	座長:前田博子(鹿屋体大学)
9:00~ 9:30	1. 奥田睦子(金沢大学) 障害者の事業型非営利組織としての総合型地域スポーツクラブへの参加システムの構築 —専門的指導者の配置と財源の両立の観点から—	1. 伊藤恵造(秋田大学) 団地コミュニティの形成と「クラブハウス」	1. 笠野英弘(筑波大学) 日本におけるサッカー実施者の性格構造と社会構造の関係 - ライフストーリー分析を通して -
9:30~ 10:00	2. 西田敬志(順天堂大学大学院) 教育相談職員による児童生徒の軽度発達障害の2段階スクリーニング法の検討	2. 松本彰之(日本体育大学大学院) 地域コミュニティ活性化に関する一考察—民俗芸能の伝承に着目して—	2. 加藤朋之(山梨大学) 何故、サッカースタジアムは、ハーフウェーライン上がメインスタンドなのか?
10:00~ 10:30	3. 藤田紀昭(同志社大学) 障害者スポーツの競技スポーツ化に関する研究	3. 眞鍋隆祐(東京学芸大学大学院) 家庭・地域・学校の協働によるスポーツの生活化についての一考察	3. 後藤貴浩(熊本大学) 少年サッカー指導者の暮らし
10:30~ 11:00		4. 柳沼絵美子(埼玉県立大学大学院) 「するスポーツ」と居住地区の人とのかかわりの関係について	4. 藤田智博(桃山学院大学) Jリーグにおけるサッカー移民の特性と変化

3月19日(火) 16:00~17:00 一般発表(3)

	A会場 (7F 704)	B会場 (7F 705)	C会場 (7F 706)
	座長:小椋 博(龍谷大学)	座長:松田恵示(東京学芸大学)	座長:甲斐健人(奈良女子大学)
16:00~ 16:30	1. 海老原 修(横浜国立大学) 似て非なるスポーツの顕在化	1. 小丸 超(龍谷大学大学院) ルソーの身体論	1. 柴田敏宏(鹿屋体育大学大学院) 体育・スポーツを専門とする大学生の志望職種と進路選択への自己効力感の研究
16:30~ 17:00	2. 小坂美保(兵庫教育大学) 高校野球における「聖地」の検討	2. 志々田文明(早稲田大学) 嘉納治五郎は柔道の何を「発明」しなかったのか?	2. 下竹亮志(筑波大学大学院) 学校運動部の体験とその意味に関する研究—若者文化論の視角から—